



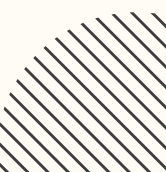
広がる・深まる遊びの輪

2024/08/05 作成者：福丸直宏
武岡幼稚園 2階フロアでの出来事



お店やさんの看板つくろう

朝、職員室の廃材コーナーに「お邪魔しまーす！」と素材を撮りに来た4人。「いらっしゃい！何作るのー？」と聞くと「お店屋さんの看板！」とニコニコで教えてくれました。「店長なに色の看板にする？」と相談が始まり、四人が大好きなピンクに決定！看板の色を相談して決める姿はさすが年長さん！と思いながらも、すでに決まっている「店長」という設定にも思わず「本格的だね」と声をかけてしまいました。





部屋に帰ると・・・

早速お店屋さんづくりがスタートしていました。それぞれに分かれてパンケーキを作ったり、看板を作ったり、レジを作ったり。「このお店ってペイペイ使えるの?」「んー、店長に聞いてみる!」と遊びの中の会話もとっても面白かったです。看板メニューのショートケーキとチョコケーキ。大人用のチョコはこっち!子どもはこっち!画用紙の色を分け、甘さを表現。ショートケーキはスポンジとクリームの色も分けるこだわりよう。子ども達のこうしたい!が詰まっています。

お楽しみ会の経験を活かして

先日行われた年長児のお楽しみ会。そこでの経験が普段の遊びへと繋がっているように感じました。子どもの姿から行事を考える。日常の延長線にある保育。行事の日のためだけじゃないからこそ「今度はこうしてみよう」「次はこんなことをしてみたい!」という子ども達の遊びの深まりを感じました。そんな子ども達の経験を大切に寄り添う保育者たち。一緒にアイデアを出したり、少し引いてみたり。子ども達にとって大切な経験を共に味わう保育者も輝いて見えました。



広がる遊びの輪

お店屋さんの準備をする年長児の側で黙々とダンボールを重ねる年中児の姿がありました。自分で切った段ボールを重ねてはテープで貼る。を繰り返し、ノリをダンボールの側面につけて慎重に乗せませす。「...立った!」目がきらっと輝く瞬間!「立ったね」と声をかけると「うん!」とニコニコで見せてくれました。だけどノリ。すぐにパタン。と倒れてしまいます。「やっぱりテープかも」と言い、テープで止めました。遊びの中での試行錯誤。これでダメなら今度はこうしてみよう!という力。子ども達の遊びの中にある心の動きを覗けた気がしました。

